

第17回
本社調査

オンライントラベル予約実態調査

JTB

【運営会社】JTB
【URL】https://jtb.co.jp
【月間PV数】非公開【会員制】会員数非公開。会費無料【契約施設数】18,000軒(旅館他33%)【手数料率】非公開【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。カードおよびJTBトラベルギフトでの事前決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】70%【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】JAPANICAN.com(https://www.japanican.com)。対応言語：英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語【ロイヤリティプログラム】JTBトラベルポイント(JTB店舗・るぶトラベルとの共通ポイントプログラム)。ポイント付与率：0.5~1%。宿泊施設負担率：0%【クーポン機能】JTBホームページクーポン(JTBHPだけでなく、店舗でも利用できるOMO型クーポン※一部除外有)。宿泊施設負担率：クーポンによる【今後の戦略】「品質・条件志向」のお客さまをターゲットとし、お客さまのこだわりに応え、旅の安心を提供できるサイト運営を行う。さらにリアルエージェントとしての強みを生かし、Web・店舗などでのシームレスなサービス提供を拡充することで、顧客体験の向上を図る

日本旅行

【運営会社】日本旅行
【URL】https://www.nta.co.jp
【月間PV数】非公開【会員制】会員数非公開。会費無料【契約施設数】5,500軒(内訳：非公開)【手数料率】非公開【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。事前の銀行振り込み決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】75%【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】なし【クーポン機能】あり(詳細未回答)【今後の戦略】未回答

近畿日本ツーリスト

【運営会社】近畿日本ツーリスト
【URL】https://www.knt.co.jp
【月間PV数】非公開【会員制】会員数非公開。会費無料【契約施設数】11,000軒。(旅館50%、シティホテル30%、ビジネスホテル20%)【手数料率】非公開【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】旅館50%、ホテル50%【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】75%【アプリ対応】あり。高級施設向け「Blue Planet」。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】あり。対応言語：英語、中国語、韓国語【ロイヤリティプログラム】KNTメンバーズクラブ。全国レジャー割引クーポン「ポケット」などを配信。ポイント付与率：1%。宿泊施設負担率0%【クーポン機能】あり(詳細未回答)【今後の戦略】宿泊と航空機・JRの組み合わせ自由自在のダイナミックパッケージ商品のさらなる強化。旅のアドバイザーコンシェルジュ(全国どこでもPCやスマホでもアクセス可能、アドバイザーによる新たなオンライン接客サービスの強化、これまで培ってきた接客スキルを生かし、ヒューマンタッチで専門知識をもったアドバイザーが接客を行い、的確に顧客ニーズに応えていく。「Blue Planet KNT High Class」。特定の分野に秀でた宿泊施設を独自基準によりカテゴリごとに厳選。多様化する顧客ニーズに対応する新プラン、SDGsに対応した商品をさらに拡充して時代の一步先んじた提案を顧客に行っていく

じゃらんnet

【運営会社】リクルート
【URL】https://www.jalan.net
【月間PV数】非公開【会員制】会員数非公開。会費無料【契約施設数】非公開【手数料率】基本手数料1人利用6%、2人以上利用8%でポイント負担+2% (ポイント負担の内訳はポイント付与1%、取返プログラム1%)。事前決済手数料は+2%。グローバル集客サービス(インバウンド)は12%で事前決済手数料+2%。《※観光経済新聞調べ》【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。アプリのみApple Payでの決済が可能【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】あり。対応言語：英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、インドネシア語、マレー語【ロイヤリティプログラム】じゃらんステージプログラム。利用状況に応じてステージが決まり、ステージ特典としてポイントアップ特典、会員限定の割引プランや特典プランの紹介、期間限定ポイントアップなどを受けられる。ポイント付与率：基本加算額は2%でステータスが上がるたびに、ブロンズは2.2%、シルバーは2.5%、ゴールドは3%。宿泊施設負担率：0%【クーポン機能】じゃらんクーポン。じゃらんnetの国内宿泊の予約時にクーポン金額に応じて利用できる。「通常じゃらんクーポン」「特別じゃらんクーポン」の2種類がある。このほかに、JAL・ANA航空券、JR新幹線・特急に宿泊プランが付いたダイナミックパッケージに使える「じゃらんバッククーポン」や、レジャー・アクティビティも使える「遊び・体験予約クーポン」「じゃらんレンタカークーポン」などもある。じゃらんクーポンの宿泊施設負担率：非公開【今後の戦略】「国内総地域消費額」の増加に取り組む。その中でもホテル消費の促進を目指し、カスタマーにとっては旅の始めから終わりまでをじゃらん上でストレスなく完結できるサービスを提供していく

Expedia(エクスペディア)

【運営会社】エクスペディアグループ
【URL】https://www.expedia.co.jp
【月間PV数】非公開【会員制】会費無料【契約施設数】世界300万軒以上(内訳：非公開)【手数料率】東京・大阪・京都のホテル(事前決済18%、事前現地混合決済18%、現地決済のみ15%)。東京・大阪・京都の旅館(事前決済15%、事前現地混合決済13%、現地決済のみ12%)。他地域ホテル(事前決済15%、事前現地混合決済13%、現地決済のみ12%)。他地域旅館(事前決済15%、事前現地混合決済15%、現地決済のみ12%)。※地域・運営形態により異なるため参考数値(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】世界各国にサイトがあり、世界中の国から予約が可能【ロイヤリティプログラム】エクスペディア会員プログラム。予約内容に応じて、次の旅行で使えるポイントがたまる。また予約すればするほど、会員ランクが上がって、ゴールド会員になると指定ホテルで無料アップグレードなどの特典が受けられる。ポイント付与率：未回答。宿泊施設負担率：未回答【クーポン機能】あり。キャンペーンに配られるクーポンなどを決済画面で入力すると割引が適用になる。https://welope.expedia.co.jp/coupon/に詳細を掲載。宿泊施設負担率：未回答【今後の戦略】未回答

agoda(アゴダ)

【運営会社】アゴダ・インターナショナル・ジャパン
【URL】https://www.agoda.com/
【月間PV数】非公開【会員制】取っていない【契約施設数】国内で50,000軒。世界で290万軒。(内訳：非公開)【手数料率】12%。事前決済・現地決済共に同手数料率(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。クレジットカード(分割払い)。Atome(後払い決済)。コンビニエンスストアでの現金支払い(ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート)【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：全世界で1億6,000万DL【インバウンド対応】39言語に対応【ロイヤリティプログラム】AgodaVIP。ポイント付与率：未回答。宿泊施設負担率：未回答【クーポン機能】あり。詳細未回答【今後の戦略】2023年はリカバリーの年になる。インバウンドも一気に伸びてくるだろう。パナママンのCM効果もあって、アゴダの認知度は向上し、国内の顧客基盤もできつつある。そこに元々得意としていたインバウンドに戻ってくる。アゴダはグローバルOTAでありながらローカライズを重視している。日本人ユーザーに満足いただけるようにローカル進化させた機能を逆に輸出して、インバウンドに生かすことも考えている。「利便性を追求して煩わしさを取り除き、トラベルプロセスのフリクションをなくしていく」というグローバル戦略のもと、アゴダはアプリの中で「ショッピングカート」機能を最近稼働させた。旅行日程に組んだ宿泊、航空、公共交通機関、アクティビティをショッピングカートに入れて同時予約できるようにした。また、フィンテックも強化する。コンビニ決済などペイメントの選択枝の拡大、分割払いの導入などテクノロジーを使ってユーザーが少しでも楽に旅をできる方法を徹底的に追及していく

るぶトラベル

【運営会社】JTB
【URL】https://rurubu.travel
【月間PV数】非公開【会員制】会員数非公開。会費無料【契約施設数】18,000軒(旅館他33%)【手数料率】1人利用8%、2人以上利用10%。事前決済手数料+2%。インバウンドサイトのJAPANICAN.comは、JTB加盟店が1名利用11%・2人以上13%。JTB未加盟店が1人利用12%・2人以上14%《※観光経済新聞調べ》【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済(決済代行)【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】70%【アプリ対応】なし。JTBパブリッシング運営の「るぶアプリ」にて宿泊掲載【インバウンド対応】JAPANICAN.com(https://www.japanican.com)。対応言語：英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語【ロイヤリティプログラム】JTBトラベルポイント(JTB店舗・JTBホームページとの共通ポイントプログラム)ポイント付与率：基本1%。宿泊施設負担率：基本0%(施設側で任意増額設定可能)【クーポン機能】割引クーポン(るぶトラベルの宿泊でのみ使用でき、クーポンが自動適用される※一部除外あり)。宿泊施設負担率：クーポンによる【今後の戦略】「カジュアル志向・ビジネス」のお客さまをターゲットとし、ストレスフリーな購買体験を提供できるサイト運営を行う。さらに、るぶブランドで展開するWeb媒体・書籍・観光アプリなどと連携し、有益な観光情報をあわせ持つことで「ほしい」が見つかる、顧客体験を提供する

東武トップツアーズ

【運営会社】東武トップツアーズ
【URL】https://tobutoptours.jp/
【月間PV数】非公開【会員制】会員13万人。会費無料【契約施設数】4,000軒(旅館37%、シティホテル57%、その他8%)【手数料率】非公開【決済方法】宿泊施設での現金払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】22年1~3月期は、21年同期比340%、20年同期比80%、19年同期比65%。22年4~6月期は、21年同期比320%、20年同期比3,500%、19年同期比70%。22年7~9月期は、21年同期比415%、20年同期比420%、19年同期比105%。22年10~12月期(予定)は、21年同期比280%、20年同期比170%、19年同期比200%。【旅館・ホテル予約比率】旅館25%、ホテル75%【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】75%【アプリ対応】なし【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】グランポヤージュ。ポイント付与率：1%。宿泊施設負担率：0%【クーポン機能】なし【今後の戦略】JMR契約商品を中心とした商品ラインナップの拡充、SNSなどを活用した新規顧客獲得の取り組み

楽天トラベル

【運営会社】楽天グループ
【URL】https://travel.rakuten.co.jp
【月間PV数】非公開【会員制】国内会員1D1億以上【契約施設数】40,000軒(内訳：非公開)【手数料率】基本手数料1人利用7%、2人以上利用8.25%でポイント負担+1%。事前決済手数料+2%。アフィリエイト+1.3%(アフィリエイト+1%、手数料0.3%)。インバウンド予約10%(人数にかかわらず一律。ポイント付与なし)(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】半数超【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】あり。対応言語：英語、中国語(繁体中文・簡体中文)、韓国語、インドネシア語、タイ語。特徴：①日本ならではの高品質なおもてなしが受けられる宿泊施設に「Japan Quality」のバッジをつけて、推奨している②日本の宿泊施設の特長である宿泊プランの魅力外国人旅行者向けに最大限活用できることできるインターフェース③楽天ポイントがたまる、使える仕様。まずは台湾から開始【ロイヤリティプログラム】楽天ポイント。たまったポイントは、1%＝1円分として、楽天グループやその他のサービスで利用できる。ポイント付与率：1%から(対象サービスやキャンペーンなどにより異なる)。宿泊施設負担率：1%【クーポン機能】ラ・クーポン。毎月5日0時のつく日は国内の対象高級宿・温泉宿が9%オフとなるクーポンや、宿泊施設オリジナルの宿クーポンなど、幅広い種類のクーポンを選んで予約の際に簡単に割引を受けられる。ラ・クーポンの宿泊施設負担率：非公開【今後の戦略】宿泊施設のサステナビリティへの取り組み内容や度合いを可視化するアイコンやバッジを予約ページに掲載し、旅行者が取り進める際に参考にできるようにした。今後もサステナビリティへの意識の高まりに対応できるよう取り組んでいく

Booking.com(ブックイング・ドットコム)

【運営会社】ブックイング・ドットコム・ジャパン
【URL】https://www.booking.com
【月間PV数】非公開【会員制】取っていない【契約施設数】世界で2,800万軒以上。そのうち660万軒以上が旅館や民泊などの宿泊施設【手数料率】15%(事前決済手数料含む)。現地決済・事前決済ともに同手数料率)。プリファード契約(露出強化)は+3%、プリファードプラスは+5%(施設により異なる場合あり)(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】60%【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】44言語。いつでも、どこでも日本語でアプリやサイト上の情報を見られる利便性を持つ【ロイヤリティプログラム】Geniusプログラム。登録者・利用回数によりレベルは異なるが、会員割引、無料客室アップグレード、無料朝食などの特典あり。ポイント付与率：10~20%。宿泊施設負担率：未回答【クーポン機能】なし【今後の戦略】インバウンドを含め、旅行に一度出やすくなったことを受け、すでに取り組みを進めてきている「サステナブル・トラベル」への啓発と、参加宿泊施設数を増やせるように活動を遂行していく。また、旅に日常体験や、ミニムラ、大自然、ノスタルジックなカルチャーなどを求めることに旅行者意識が向かっている中で、日本の地域を持つ魅力や価値を国内と世界に伝え、共感できる旅行者を増やせるような取り組みも行っていく予定

Relux(リラックス)

【運営会社】Loco Partners(ロコパートナーズ)
【URL】https://rx.jp/
【月間PV数】非公開【会員制】会員数346万人。会費無料【契約施設数】3,500軒(内訳：非公開)【手数料率】12%。事前決済手数料+2%。サイトコンローラー接続料月額5,000円(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。その他【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】Reluxポイント(6か月の累計の利用金額と決済方法に応じた4つのステータスごとに異なるポイント還元率を設定し、最大で業界トップレベルの6%を還元)。Pontaポイント(Pontaポイントを利用してReluxで宿泊予約をすると、通常還元される最大8%のReluxポイントに加え、宿泊料金の1%のPontaポイントが還元される。たまったPontaポイントには、1%＝1円分で次の宿泊予約時に割引として利用が可能。※Pontaポイント利用には、auIDとRelux会員のIDの連携が必須)。ポイント付与率：1~6%。宿泊施設負担率：0%【クーポン機能】あり。詳細未回答【今後の戦略】直近ではシステム基盤の強化を行い、宿泊施設とカスタマー双方の利便や体験の向上を、持続的かつスピーディーに行っていくことを目指す。そして他のサイトとの違いを打ち出しつつ、親会社であるKDDIが持つau顧客基盤とのシナジーを強化することで、観光領域への貢献を目指していく

ベストリザーブ・宿らざ

【運営会社】ベストリザーブ
【URL】https://www.bestrsrv.com
【月間PV数】非公開【会員制】会員数200万人。会費無料【契約施設数】10,000軒(旅館35%、シティホテル15%、ビジネスホテル50%)【手数料率】8%(ポイント負担+1%。事前決済手数料+2%※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。サイト内で流通するポイントによる支払いも可能【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】なし【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】BRゴールドポイント。サイト内で付与や利用が可能。ポイント付与率：1%~。宿泊施設負担率：1%~【クーポン機能】あり。サイト内で利用が可能な。宿泊施設負担率：0%【今後の戦略】ポイントプログラムやクーポンなどを駆使した更なる付加サービスの充実

新年号恒例のOTAアンケート調査は今年で17回目。主要18サイトから得た回答に独自調査の結果を加えて発表する。
時流である「モバイル(スマホ・タブレット)予約比率」については7サイトが回答した。平均は70.7%だった。PCからの旅行予約は、今や30%未満ということになる。「ロイヤリティプログラム」は18サイト中16サイトが「ある」と回答。それぞれの内容や、各社が実に多種多様な手法で「ユーザーの囲い込み競争を繰り返している様子が見て取れる。取返に有効なクーポン機能についても15サイトが「ある」と回答した。
コロナ禍からの観光V字回復に向けた今後の戦略では、各社が自らの強みを最大限に生かした方策を打ち出している。(江口英二)

JALイージーホテル

【運営会社】ジャルパック
【URL】https://www.jal.co.jp/dontour/easy/
【月間PV数】非公開【会員制】取っていない。JMB非会員でも予約できる【契約施設数】非公開【手数料率】8%【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】なし【インバウンド対応】訪日旅客向け専用サイトで別途展開。英語、中国語(広東語)、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、韓国語に対応。ダイナミックパッケージで展開【ロイヤリティプログラム】JALマイレージクラブ【クーポン機能】割引クーポン。販路ごとの割引施策が可能。宿泊施設負担：なし【今後の戦略】インバウンドについては、JAL国際線の自社便の設定がある国での訪日ダイナミックパッケージ商品を展開する。商品名「Japan Airlines Vacations」

ANAウェブサイト

【運営会社】ANA X
【URL】https://www.ana.co.jp/
【月間PV数】非公開【会員制】取っていない【契約施設数】8,000軒(内訳非公開)【手数料率】9%【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。事前マイル決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】ANAマイレージクラブ。会員数3,800万人を誇り(※2019年度実績平均、コードシェア便含まず)、年構成比74%が30~60代、平均世帯年収約1,000万円が約50%。ビジネスパーソンの中心に、ファミリーや学生など幅広い層が利用している。ポイント付与率：ANAトラベラーズホテルでは宿泊価格100円につき1%。宿泊施設負担率：0%【クーポン機能】ANAトラベラーズホテルクーポン。ANAトラベラーズダイナミックパッケージ(航空券+宿泊)の予約の際に利用できるクーポン。会員・非会員に関わらず利用できる【今後の戦略】ANA Xの事業コンセプトは「マイルで生活ができる世界」。航空や旅行といった「非日常」に加え、「日常生活」においてもANAグループの強みを生かしたサービス・商品を「マイル」と結びつけて展開していく。22年10月20日には、ANAマイレージアプリを刷新。さまざまなサービスの入り口となるアプリと位置付け、機能を整備した。来春にはマイルを通貨のように使えるようにし、日常生活での利用を促進し、会員と流通額の拡大を推進する

一休.com

【運営会社】一休
【URL】https://www.ikyuu.com
【月間PV数】非公開【会員制】会員数1,300万人。会費無料【契約施設数】6,500軒(旅館50%、シティホテル10%、ビジネスホテル30%、リゾートホテル他10%)【手数料率】10%。事前決済手数料+3.5%(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】2022年の年間を通じた取扱高は前年比、前々年比でプラスに推移【旅館・ホテル予約比率】旅館60%、ホテル30%、他10%【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】一休ポイント。利用実績により会員ステータスが上がり、付与率もアップする。ポイント付与率：1~5%。宿泊施設負担率：0%【クーポン機能】未回答【今後の戦略】「一休.com」では、ページ上での顧客行動を分析し、パーソナライズした顧客体験ができるような対応を行っている。国内の魅力あふれるお宿とユーザーとの最適なマッチを限り、「ここに賛賞」な旅行体験を提供する場所であり続けられるように精進していく

Yahoo!トラベル

【運営会社】ヤフー
【URL】https://travel.yahoo.co.jp
【月間PV数】非公開【会員制】取っていない【契約施設数】17,000施設(内訳：非公開。各情提供元から提供されている宿泊施設数の合計。重複除く)【手数料率】10%。事前決済手数料+3.5%(※観光経済新聞社調べ)【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済。事前PayPay決済(現地決済、事前カード決済との併用可)【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】なし。Yahoo!JAPANアプリ、Yahoo!地図などから予約導線あり【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】PayPayポイントの付与(特にプログラム名なし)。予約プランによりPayPayポイントを付与。Yahoo!プレミアム会員、ソフトバンクスマホユーザーには、ポイント優遇有り【クーポン機能】割引クーポン【今後の戦略】未回答

Trip.com(トリップ・ドットコム)

【運営会社】Trip.comグループ(Trip.com、Ctrip、Skyscanner、Qunarを展開)
【URL】https://jp.trip.com/
【月間PV数】非公開【会員制】会費無料。非会員でも予約できる【契約施設数】世界で120万軒(内訳：非公開)【手数料率】15%《事前決済手数料含む。事前決済・現地決済共に同率手数料(※観光経済新聞調べ)》【決済方法】宿泊施設での現金・カード払い。事前カード決済【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】非公開【アプリ対応】あり。ダウンロード数：グローバルで620万DL【インバウンド対応】あり【ロイヤリティプログラム】Trip Coins。Trip.com(デスクトップ、モバイル、アプリ)で予約すると、Trip Coinsが付与される。付与数は、商品の種類や代金、会員ステータス、予約した場所(アジアトップ、モバイル、アプリ)により異なる。ポイント付与率：航空券は100米%ごとに25Trip Coins、ホテルは100米%ごとに80Trip Coinsを付与。上級会員は付与率がアップ。ゴールド会員には+10%、プラチナ会員には+30%、ダイヤモンド会員には+40%のTrip Coinsを付与する。Trip.comアプリで予約するとTrip Coinsの付与率が最大30%アップ。宿泊施設負担率：未回答【クーポン機能】あり。キャンペーンに応じて発行【今後の戦略】「すべての旅は、ここから始まる」。航空券、ホテル、鉄道、レンタカーの予約をいつでもどこでも数秒で。リアルタイムのフライト情報や旅行情報、アプリ限定のお得情報もお知らせ！アプリで予約すると、Trip Coinsの付与率が30%アップ！

ゆこゆこネット

【運営会社】ゆこゆこホールディングス
【URL】https://www.yukoyuko.net
【PV数】月間2,300万ページビュー【会員制】会員数791万人。会費無料。非会員でも予約できる【契約施設数】3,000軒(内訳：非公開)【手数料率】10%。「ゆこゆこ」本誌は25.5%。ネットのみは初年度8%で以降10%(※観光経済新聞調べ)【決済方法】宿泊施設での現金払い。宿泊施設でのカード払い(施設による)。事前カード決済(施設による)【コロナ禍中の旅行取扱実績(サイト全体)】非公開【旅館・ホテル予約比率】非公開【モバイル(スマホ・タブレット)予約比率】70%【アプリ対応】あり。ダウンロード数：非公開【インバウンド対応】なし【ロイヤリティプログラム】なし【クーポン機能】あり。詳細未回答【今後の戦略】オンラインでありながら電話予約受け付けもしているゆこゆこネットが、顧客のロイヤリティを促進させるべくCRMを強化し、シニアカスタマーが多いゆこゆこならではの寄り添った顧客体験を実現させる